


特定非営利活動法人 日本免疫学会
2019 年度 後期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	安部 沙織	会員番号	0035876	
申請者の所属・職名	筑波大学大学院博士課程人間総合研究科疾患制御医学専攻 臨床免疫学 3年			
出席会議名	American College of Rheumatology annual meeting 2019			
発表論文タイトル	Detection and clinical significance of circulating M3 muscarinic acetylcholine receptor reactive Th17 cells in patients with primary Sjögren's syndrome			

実施結果:

現在私はシェーグレン症候群(SS:Sjögren's syndrome)における自己抗原特異的 Th17 細胞の検出、およびその臨床的意義に関して研究を進めている。

M3 ムスカリン作働性アセチルコリン受容体(M3R:M3 Muscarinic acetylcholine receptor)に対する免疫応答は、SS 類似の唾液腺炎をマウスにて発症させ、M3R はシェーグレン症候群において自己抗原として注目されている。これまでに SS 類似マウスモデルを用い、唾液腺炎発症の病態に M3R 反応性 Th1 細胞、Th17 細胞が関与していることを本研究室の先行研究で報告した。今回アメリカリウマチ学会 2019 において、ヒト SS 患者における M3R 特異的な IL-17 産生 Th17 細胞の存在の証明と臨床との関連を報告し、世界で初めての報告となった。臨床との関連性について、その疾患活動性との相関、および同じ抗原特異的な B 細胞応答との相関を示したことは新しい知見である。

シェーグレン症候群を専門とする著名な先生方よりご質問も頂き、大変有意義な討論ができたと感じている。

頂いた質問としては、

- ① 本研究では M3R ペプチドに反応する IL-17 産生細胞に focus をあてているが、他の cytokine profiling はどうか？
- ② 抗原特異的なサイトカイン産生 T 細胞に着目しているが、テトラマーを用いた検討はしているか？ ELISpot は定量性がないため FACS で try してみてもどうか。
- ③ M3R は外分泌腺以外にも発現していると思うが、他の臓器への影響はどうか？

といったような質問を頂き、討論をさせて頂いた。

これまでに内部では検討をしていない観点からの質問も多く、今後の研究発展へと繋げていきたい。また現在、上記研究内容をまとめた論文を執筆、投稿中である。

学会での討論内容も踏まえ、論文を推敲し、publish できるよう研究を続けていきたい。